

1607名の学生に新政権への期待に関する意識調査アンケート実施

# 今回の総選挙に対する若者の意識とは？

～40%の若者が、選挙は国民の義務だという意識で投票へ～

特定非営利活動法人ドットジェイピー  
理事長 佐藤大吾

NPO法人ドットジェイピー(以下、ドットジェイピー)は、『若年投票率の向上』を目的に、議員事務所や官公庁にて政策立案過程や行政について就業体験を積む「議員インターンシッププログラム」を、学生を対象に提供しております。

この度、ドットジェイピーでは、先日行われた衆議院選挙を受けまして、8月31日から9月4日の5日間で全国1607名の大学生に対して、衆議院選挙と今後の政権に関する意識調査アンケートを実施致いたしました。

その結果をここでご報告いたします。

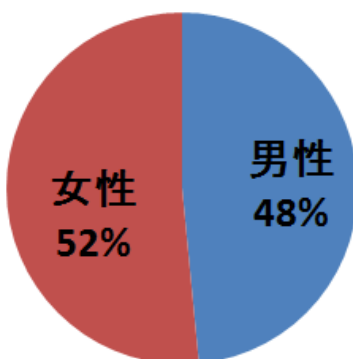
さらに詳しいデータをお求めの方は、4ページのお問い合わせ先までご連絡ください。

## ■調査概要

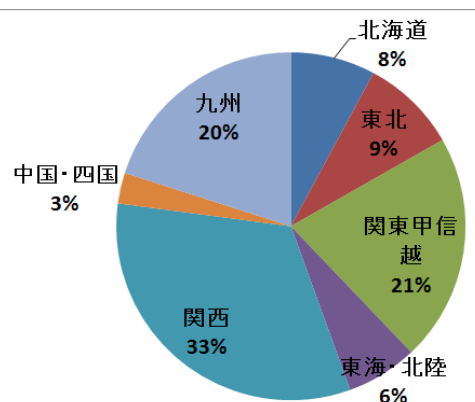
対象	全国の大学生 1607名
期間	2009年8月31日～9月4日
調査目的	新政権への期待に関する若者の意見を社会に届けるため
調査方法	弊団体スタッフの広報によるWEBアンケート、紙媒体の配布
調査内容	今回の衆議院選挙の実態および今後の政権に対する若者の意識調査

## ■調査対象について(性別・地域)

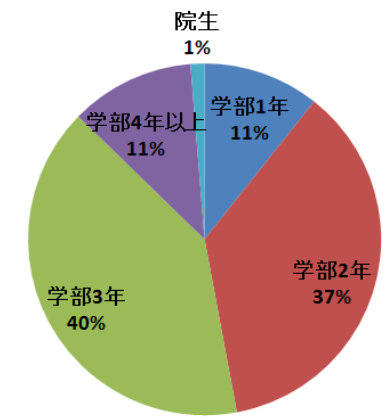
○性別



○地域



○学年



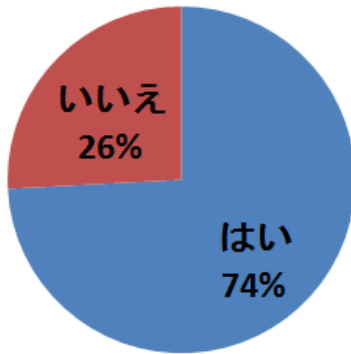
## ■アンケート調査概要

問1. あなたは今回の衆議院選挙の投票へ行きましたか？

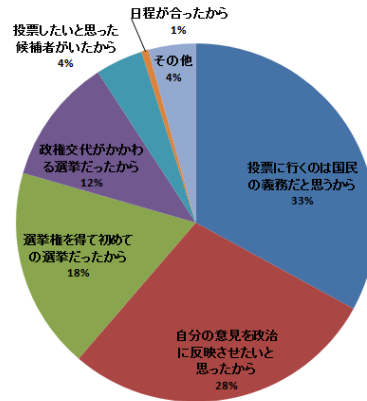
- はい       いいえ       選挙権を持っていない

問2. 問1で「はい」と答えた方にお聞きします。選挙に行った理由に当てはまるものを1つお選び下さい。

- 自分の意見を政治に反映させたいと思ったから       政権交代がかかわる選挙だったから  
 投票したいと思った候補者がいたから       投票に行くのは国民の義務だと思うから  
 日程が合ったから       選挙権を得て初めての選挙だったから       その他



【問1】(有権者のみのデータ)



【問2】

投票に行ったかどうか、という質問に対して、選挙権のある回答者※およそ1300人のうち、74%にあたる1000人の学生が「投票に行った」と回答した。

有権者全体での投票率が69.27%であるから、今回の調査でそれを上回る結果が出た。

※回答者には弊団体の学生スタッフやインターン生も含まれている

問3. 問1で「はい」と答えた方にお聞きします。あなたは投票する際、何を参考にして投票しましたか？

(当てはまるものを1つお選び下さい。)

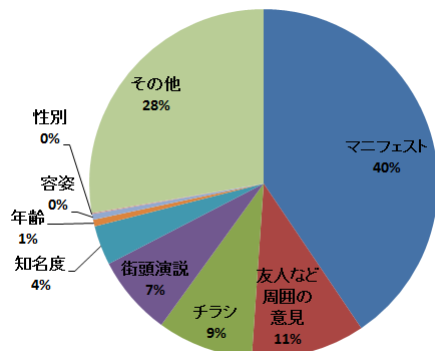
- 街頭演説       チラシ       友人など周囲の意見       知名度       年齢  
 容姿       性別       マニフェスト       その他

問4. 問1で「いいえ」と答えた方にお聞きします。選挙に行かなかった理由をお答え下さい。

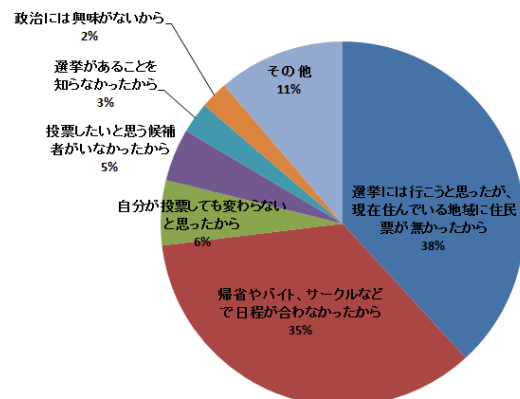
(当てはまるものを1つお選び下さい。)

- 自分が投票しても変わらないと思ったから       政治には興味がないから  
 選挙があることを知らなかったから       投票したいと思う候補者がいなかったから  
 帰省やバイト、サークルなどで日程が合わなかったから  
 選挙には行こうと思ったが、現在住んでいる地域に住民票が無かったから       その他

【問3】

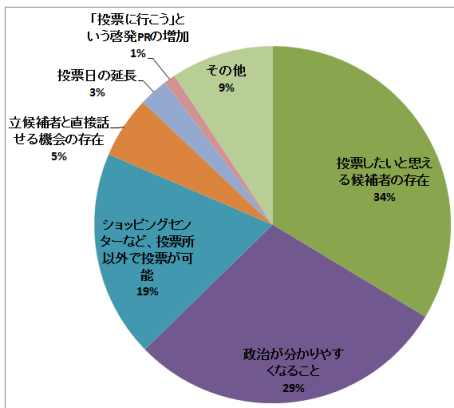


【問4】



問5. 選挙権がない方、問1で「いいえ」と答えた方にお聞きします。  
以下の選択肢で、実現されればあなたが選挙に行くと思えるような状態を選択肢の中から1つ選んで下さい。

- 投票したいと思える候補者の存在
- 投票日の延長
- ショッピングセンターなど、投票所以外で投票が可能
- その他
- 政治が分かりやすくなること
- 「投票に行こう」という啓発PRの増加
- 立候補者と直接話せる機会の存在

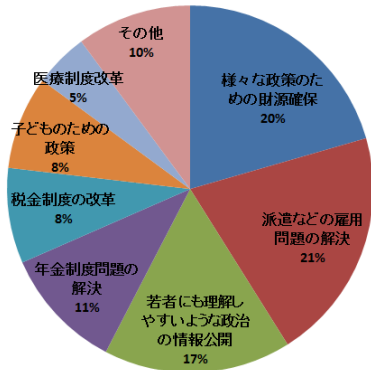


「投票したいと思える候補者の存在」、「政治が分かりやすくなること」を挙げた学生が34%と29%で、6割を占めた。

一方で、100人以上の学生は投票所以外での投票を求めており、生活エリア内での、利便性が高い場所における投票行為を望む声も上がっている。

問7. 今回の選挙では民主党への投票が集中しました。あなたが今後発足する新しい政権に実行してほしいことは何ですか。(当てはまるものを1つお答えください。)

- 様々な政策のための財源確保
- 派遣などの雇用問題の解決
- 税金制度の改革
- 医療制度改革
- 若者にも理解しやすいような政治の情報公開
- 子どものための政策
- 年金制度問題の解決
- その他

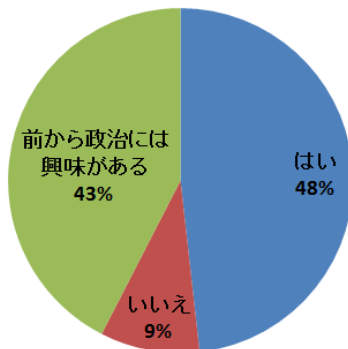


新政権へ期待することとして多かったのは「様々な政策のための財源確保」、「派遣などの雇用問題の解決」という回答だった。若者にとっては自分たちにより身近な、雇用問題が大きな関心事のようである。しかし、全体的に、項目ごとの回答数に大きな違いはなく、新政権に期待することは人によってさまざまなようである。

問8. 今回の総選挙を経て、あなたは政治に興味を持つようになりましたか。(当てはまるものを1つお選び下さい。)

- はい
- いいえ
- 前から政治には興味がある

問9. 問8の回答の理由をお答えください。



48%の若者が今回の選挙をきっかけに政治に興味を持つようになったと回答し、ほぼ全員が政治に対して興味を示すようになっている。

政治に興味を持った理由としては「政治が国民の票によって動くということを実感できたから」といった意見が多かった。「自分たちの手で政治が変えられる」という実感を得られるかどうか、政治に興味を持つためのポイントになっていることが伺える。

一方で興味を持たなかったと回答した学生からは、「どの政党が政権を握ってもさほど変化がないため」、「政治そのものが分かりにくいから」といった意見も多く出ている。

## ■ 質問項目

問1. あなたは今回の衆議院選挙の投票へ行きましたか？

- はい  いいえ  選挙権を持っていない

問2. 問1で「はい」と答えた方にお聞きます。選挙に行った理由をお答え下さい。(当てはまるものを1つお選び下さい。)

- 自分の意見を政治に反映させたいと思ったから  政権交代がかかわる選挙だったから  
 投票したいと思った候補者がいたから  投票に行くのは国民の義務だと思うから  
 日程が合ったから  選挙権を得て初めての選挙だったから  
 その他

問3. 問1で「はい」と答えた方にお聞きます。あなたは投票する際、何を参考にして投票しましたか？(当てはまるものを1つお選び下さい。)

- 街頭演説  チラシ  友人など周囲の意見  知名度  年齢  
 容姿  性別  マニフェスト  その他

問4. 問1で「いいえ」と答えた方にお聞きます。選挙に行かなかった理由をお答え下さい。(当てはまるものを1つお選び下さい。)

- 自分が投票しても変わらないと思ったから  
 政治には興味がないから  
 選挙があることを知らなかったから  
 投票したいと思う候補者がいなかったから  
 帰省やバイト、サークルなどで日程が合わなかったから  
 選挙には行こうと思ったが、現在住んでいる地域に住民票が無かったから  
 その他

問5. 選挙権がない方、問1で「いいえ」と答えた方にお聞きます。

以下の選択肢で、実現されればあなたが選挙に行くと思えるような状態を選択肢の中から1つ選んで下さい。

- 投票したいと思える候補者の存在  政治が分かりやすくなること  
 投票日の延長  「投票に行こう」という啓発PRの増加  
 ショッピングセンターなど、投票所以外で投票が可能  立候補者と直接話せる機会の存在  
 その他

問6. 現在投票権の年齢引き下げについて、議論が交わされています。

あなたは、投票権を18歳以上とすることに賛成ですか。反対ですか。

- 賛成  反対  分からない

問7. 今回の選挙では民主党への投票が集中しました。あなたが今後発足する新しい政権に実行してほしいことは何ですか。(当てはまるものを1つお答えください。)

- 様々な政策のための財源確保  若者にも理解しやすいような政治の情報公開  派遣などの雇用問題の解決  
 子どものための政策  税金制度の改革  年金制度問題の解決  
 医療制度改革  その他

問8. 今回の総選挙を経て、あなたは政治に興味を持つようになりましたか。

(当てはまるものを1つお選び下さい。)

- はい  いいえ  前から政治には興味がある

問9. 問8の回答の理由をお答えください。

▼NPO法人ドットジェイピー <http://www.dot-jp.or.jp>

本部 東京都港区、理事長 佐藤大吾、1998年設立。全国に10支部置き、大学生約200人が中心となって「若年投票率の向上」を目的に活動するNPO法人。学生を対象に議員事務所や官公庁にて、政策立案過程や行政について 就業体験を積む「議員インターンシッププログラム」を提供する。このプログラムは春期(2月～3月)と夏期(8月～9月)の年2回開催しており、これまでにのべ3294の議員事務所と8316名の学生が参加。2009年春のインターンシッププログラムには309名の議員・首長と807名の学生が参加をした。また、ヤフー株式会社が運営する「Yahoo!みんなの政治」(<http://sei.j.yahoo.co.jp/>)への議員・議案情報 提供や、週刊コミックバンチ(新潮社)誌上での漫画「タネダミキオでございます」連載など、活動は多岐に及ぶ。(以上、2009年9月1日時点)

《お問い合わせ》

本部所在地:〒 107-0062

東京都港区南青山3-8-37 第2宮忠ビル3F

電話&FAX:0120-098-214

MAIL:desk@dot-jp.or.jp

**jp**  
japan produce.